

# 伊丹市新庁舎整備工事総合評価一般競争入札

## 落札候補者等選定結果報告

令和元年（2019年）6月10日

伊丹市新庁舎整備事業者選定委員会

	委員名	所属_役職等
委員長	田中 栄治	学識経験者 神戸山手大学現代社会学部総合社会学科__教授
副委員長	若本 和仁	学識経験者 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻__准教授
委員	梅宮 典子	学識経験者 大阪市立大学大学院工学研究科__教授
委員	大井 史江	学識経験者 武庫川女子大学生生活環境学部建築学科__准教授
委員	田邊 太一	学識経験者 大手前大学メディア・芸術学部建築・インテリア専攻__教授
委員	行澤 睦雄	伊丹市__副市長

事務局：伊丹市 安全・安心施策推進班

## 《目 次》

1. はじめに .....	1
2. 事業者選定委員会の位置付け .....	1
3. 選定委員会の審議・審査等の経過 .....	2
4. 落札者決定基準 .....	2
5. 審査結果 .....	6
6. 落札候補者等の選定結果 .....	9
7. 各技術提案に対する審査講評 .....	9
8. 選定委員会の総評 .....	11

## 1. はじめに

伊丹市新庁舎整備工事（以下「本工事」という。）は、「市民の安全・安心な暮らしを支え夢と希望があふれる庁舎」を基本理念とし、市の防災拠点・災害復旧復興拠点としての機能を維持することに加え、市民に親しまれ、市のシンボルとなる市庁舎を整備するものである。

市は発注方式を「基本設計先行型 実施設計・施工一括発注方式」とし、また価格及び品質が総合的に優れた内容の契約とするため、施工者の選定手法を総合評価落札方式とし、経済性に配慮しつつ品質・性能を向上させる提案や工事費低減、工期短縮を実現させるための技術提案を受けたいうで落札候補者等の選定を行った。

## 2. 事業者選定委員会の位置付け

伊丹市新庁舎整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、地方自治法施行令第167条の10の2の規定に基づく総合評価落札方式による一般競争入札における落札者決定基準を定め、入札者の技術提案等に対し審査や評価を行った。

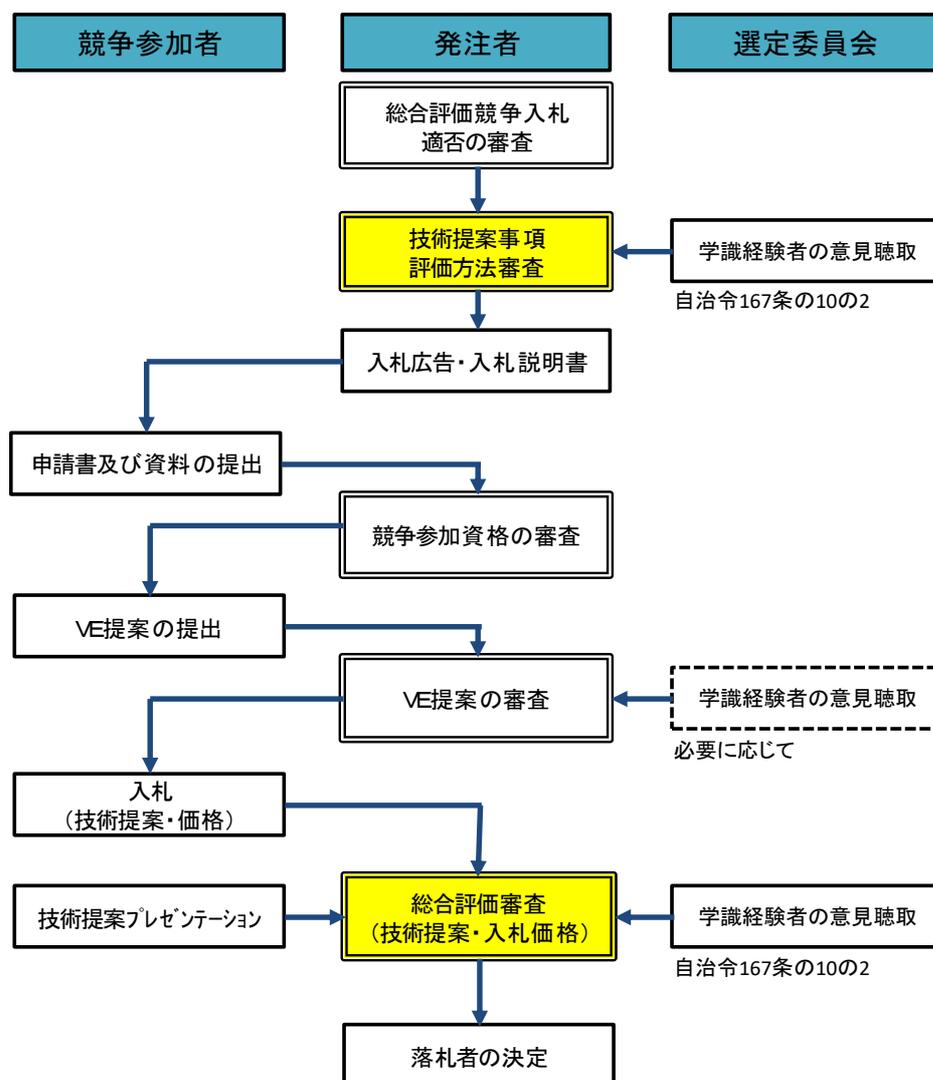


図 選定委員会の位置付け

### 3. 選定委員会の審議・審査等の経過

本工事の落札者等候補を選定するために、選定委員会を3回開催した。選定委員会の審議・審査等の経過については下表のとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	平成30年11月26日	(1) 委員長、副委員長の選出 (2) 技術提案事項について (3) 評価方法について ① 事業者選定スケジュール ② 事業説明 ③ 落札者決定基準(案)
第2回	平成31年1月29日	(1) 実施方針の見直しについて ① 実施方針(案)に対する質問への回答 ② 実施方針(案)に対する意見への回答 (2) 落札者決定基準の見直しについて
第3回	令和元年5月25日	(1) ヒアリング及びプレゼンテーション審査 (2) 入札価格の確認 (3) 評価値の算出 (4) 落札候補者の選定 (5) 審査講評 (6) 落札者の決定に際する再度の意見聴取についての審議

### 4. 落札者決定基準

#### (1) 評価方法

評価方法は除算式を採用し、技術評価点は標準点を100点、加算点の満点を50点とした。

各入札参加者の評価値を以下に示す計算方法に基づき算出し、評価値が最も高い者を落札者候補者として決定し、評価値が同数の者が複数いるときは、くじ引きにより落札候補者を決定することとした。

#### 【算定式】

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点 (標準点100点+加算点)}}{\text{入札価格 (円)}} \times 1,000,000,000$$

(小数点第4位以下切捨て)

#### (2) 評価項目

実績評価項目及び技術提案評価項目(評価の視点及び配点)を定め、提案内容において要求水準以上の具体的かつ優れた提案がなされている内容について審査した。

ア 実績評価項目及び配点

大分類	中分類	評価の視点	評価項目	配点	評価基準		備考
					掛率		
(1) 全体	統括代理人の実績	DB方式であることを踏まえて、適切な統括代理人を配置できるか。	ア 10,000㎡以上の官公庁の庁舎又は民間企業の事務所新築工事における「実施設計と施工業務の相互調整の実績」を有する。 イ 10,000㎡以上の免震構造施設の新築工事における「実施設計と施工業務の相互調整の実績」を有する。 ウ 10,000㎡以上の官公庁発注の公共施設新築工事(設計施工一括発注)における「実施設計と施工業務の相互調整の実績」を有する。	2	A ×1.0	3つを満たす	
(2) 設計業務	設計管理技術者と設計主任技術者の実績	実施設計を行うのに望ましい設計管理技術者を配置できるか。	ア 10,000㎡以上の官公庁の庁舎又は民間企業の事務所新築工事実施設計における「管理技術者としての実績」を有する。 イ 10,000㎡以上の免震構造施設の新築工事実施設計における「管理技術者としての実績」を有する。 ウ 官公庁発注の公共施設新築工事における「管理技術者としての実績」を有する。	2	A ×1.0	3つを満たす	
		実施設計を行うのに望ましい設計主任技術者を配置できるか。	以下の建築物の新築工事にかかる実施設計において、管理技術者又は本事業にて担当する分野(意匠・構造・電気設備・機械設備)の主任技術者として従事した実績(全担当者の平均を評価点とする) ア 10,000㎡以上の官公庁の庁舎又は民間企業の事務所にかかる実績を有する。 イ 10,000㎡以上の免震構造施設にかかる実績を有する。 ウ 官公庁発注の公共施設にかかる実績を有する。	2	A ×1.0	3つを満たす	・各分野(建築(意匠)、建築(構造)、電気設備、機械設備)の担当者4名の平均を評価点とする。
(3) 施工業務	現場代理人及び監理技術者と施工担当者の実績	施工を行うのに望ましい現場代理人及び監理技術者を配置できるか。	ア 10,000㎡以上の官公庁の庁舎又は民間企業の事務所新築工事における「現場代理人又は監理技術者としての実績」を有する。 イ 10,000㎡以上の免震構造施設の新築工事における「現場代理人又は監理技術者としての実績」を有する。 ウ 官公庁発注の公共施設新築工事における「現場代理人又は監理技術者としての実績」を有する。	2	A ×1.0	3つを満たす	・現場代理人と監理技術者をそれぞれ別の者が従事する場合には2名の平均を評価点とする。
		施工を行うのに望ましい施工担当者を配置できるか。	以下の建築物の新築工事において、現場代理人又は監理技術者若しくは本事業にて担当する分野(建築・電気設備・機械設備)の施工担当者として従事した実績(全担当者の平均を評価点とする) ア 10,000㎡以上の官公庁の庁舎又は民間企業の事務所にかかる実績を有する。 イ 10,000㎡以上の免震構造施設にかかる実績を有する。 ウ 官公庁発注の公共施設にかかる実績を有する。	2	A ×1.0	3つを満たす	・各分野(建築、電気設備、機械設備)の担当者3名の平均を評価点とする。
合計				10			

1 実績については、全て入札公告日から起算して過去15年間に竣工した建築物の実績とする。なお、設計業務にあっては、同日において工事中であるものを含む。

2 実績及び資格については、配置技術者ごとに要求水準書(案)において定められた要件を満足するよう注意すること。

イ 技術提案評価項目及び配点

大分類	中分類	提案項目 (評価の視点)	配点	評価基準	
				掛率	
4 (1)全体	① 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊丹市新庁舎整備基本計画」、「伊丹市新庁舎整備基本設計」を踏まえた実施設計の実施体制</li> <li>・DB方式の特性を踏まえた品質管理や施工精度確保にあたっての考え方及び工事の実施体制</li> <li>・設計企業・施工企業の有する豊富な経験及びそれらを本事業に活かすための実施体制</li> <li>・包括的かつ自律的なマネジメント、セルフモニタリング等による市への説明責任の確保に係る具体的な方法</li> <li>・市との緊密かつ円滑なコミュニケーションに資する具体的な方法</li> <li>・供用開始後の建物、設備機器の運用に資する提案</li> <li>・その他、ICT活用や受賞実績のある技術者の配置など実施方針・体制に係る提案</li> </ul> ※DB方式の特性を踏まえて、マイルストーンの設定や進捗管理方法などの工程管理方法を具体的に記述してください。	6	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
	② 工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DB方式の特性を踏まえた工程管理、災害に強い新庁舎の早期供用開始について技術力を活かした合理的な工程計画</li> <li>・別途発注工事の設計、施工の各段階の工程管理における配慮</li> <li>・その他、全体工程管理に係る提案、取組み、配慮等</li> </ul> ※全体工程表には、実施設計図書の完成時期、実施設計業務の完了時期、新庁舎の完成時期、本工事の工期を明示してください。 ※毎年度の予定出来高割合を明示してください。ただし、金額は記載しないでください。 ※工程遵守・短縮に関する具体的な方策について提案してください。	4	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
	③ 社会貢献等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業への発注や市内調達の実施について総額</li> </ul> ※具体的な項目とそれぞれの想定金額を記述してください。 ※市内に営業所又は製造所を有する企業への労務、資材、物品等の発注に限ります。	4	A × 1.0	金額が一番高い。
		ア 障害者の雇用促進等に関する法律の法定雇用率を満たしている。 イ 均等・両立推進企業表彰の受賞実績、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定、女性活躍推進法における「えるぼし認定企業」のいずれかを満たしている。 ※特定建設工事共同企業体の代表構成員が該当すること。	1	A × 1.0	2つが満たされている。
				B × 0.5	1つが満たされている。
				C × 0	1つも満たされていない。
				他	4点 × (各提示金額/最高提示金額) 小数点第2位で四捨五入とする。

大分類	中分類	提案項目 (評価の視点)	配点	評価基準	
				掛率	
(2) 品質性能向上に関する提案	① 施設性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の変化への柔軟性の確保</li> <li>・来庁者の利便性、職員の業務効率や生産性の向上に寄与する施設整備</li> <li>・高度な免震性能に基づく建物全体の耐震性能の確保</li> <li>・災害拠点として設備の耐震化も含めた施設性能の確保、非常時の業務継続性の確保</li> </ul>	8	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
	② ライフサイクルコスト、環境を考慮した庁舎を実現するための具体的な方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計と比較して、ライフサイクルでの施設維持管理コストの縮減に資する方法</li> <li>※「施設の長寿化」「免振装置を含めた施設・設備の修繕や更新の容易性」について具体的に提案してください。</li> </ul>	3	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計と比較して、ライフサイクルでのエネルギーコストの縮減に資する方法</li> </ul>	3	C × 0.5	要求水準以上のやや優れた提案
				D × 0	要求水準程度の提案
(3) 施工計画に関する提案	① 品質管理及び施工精度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工中の品質管理方策(品質管理体制、定期的な内部監査方法等)や、施工精度の確保</li> </ul>	5	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
	② 新庁舎建設工事における安全対策、騒音対策、利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設工事に当たって、周辺住民、庁舎利用者、職員それぞれに配慮した安全対策や騒音対策</li> <li>※周辺の住民の生活に支障をきたさないよう、安全確保、振動、騒音、粉塵、悪臭に係る有効な対策を講じた仮設計画及び施工計画並びに工事情報の提供について提案してください。</li> </ul>	3	A × 1.0	要求水準以上の特に優れた提案
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設工事中の庁舎利用者・職員用駐車場閉鎖期間の短縮や、利便性の確保</li> <li>※来庁者や職員の業務に支障をきたさないよう、工事期間中に運用中の庁舎及び議会の安全確保、振動及び騒音の低減、粉塵及び悪臭の抑制にかかる有効な対策を講じた仮設計画及び施工計画並びに工事情報の提供について提案してください。</li> </ul>	3	C × 0.5	要求水準以上のやや優れた提案
				D × 0	要求水準程度の提案
合計			40		

- 1 受注者は、受注者が提出した提案書類に基づいて本事業を履行するものとし、原則として提案書類に係る変更は行わないものとする。
- 2 受注者は、受注者の責めに帰する事由により受注者が提出した提案書類に基づいて本事業が履行できないときは、自然災害等の不可抗力により履行できない場合を除き、発注者の指定する期間内に、「工事(設計・施工)請負契約書」第62条に基づき違約金を支払わなければならない。
- 3 前項の場合において、受注者が発注者に支払う違約金の額の算定は、次に掲げる方法により行うものとする。  
 違約金＝請負代金額×〔1－(履行できない提案を控除した場合の得べかりし技術評価点／入札時の技術評価点)〕  
 なお、提案項目(1)～③「市内企業への発注や市内調達の実施について総額」にかかる提案の不履行にあつては、入札時の最高提示金額を分母として違約金の算定を行うものとする。

## 5. 審査結果

### (1) 入札参加者

本工事における入札参加者は、以下の3企業であった。

提案受付番号	入札参加者	構成
A-1	株式会社 大林組 神戸支店	単独
A-2	株式会社 竹中工務店 大阪本店	単独
A-3	大成建設株式会社 神戸支店	単独

### (2) 評価項目に基づく審査（提案点の算出）

選定委員会は、予め公表された落札者決定基準に基づき事務局により採点された実績評価項目の評価点について報告を受けた。また、入札参加者による提案のヒアリング（プレゼンテーション15分、質疑応答25分）を受け、技術提案評価項目にかかる評価を行った。なお、技術提案書及びプレゼンテーションは、各提案者の社名を伏せて行った。

#### ア) 実績評価項目に基づく評価点

評価項目			配点	評価点		
大分類	中分類	評価の視点		A-1	A-2	A-3
(1) 全体	統括代理人の実績	DB方式であることを踏まえた、統括代理人の配置	2	1.0	1.0	2.0
(2) 設計業務	設計管理技術者と設計主任技術者の実績	設計管理技術者の配置	2	2.0	2.0	2.0
		設計主任技術者の配置	2	2.0	1.5	2.0
(3) 施工業務	現場代理人及び監理技術者と施工担当者の実績	現場代理人及び監理技術者の配置	2	2.0	0.0	2.0
		施工担当者の配置	2	1.6	1.5	2.0
合計			10	8.6	6.0	10.0

イ) 技術提案評価項目に基づく評価点

評価項目			配点	評価点		
大分類	中分類	提案項目 (評価の視点)		A-1	A-2	A-3
(1) 全体	①実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計の実施体制</li> <li>・DB方式の特性を踏まえた工事の実施体制</li> <li>・発注者等とのコミュニケーション</li> </ul>	6	4.5	4.5	5.0
	②工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DB方式の特性を踏まえた合理的な工程計画</li> <li>・別途発注工事の設計、施工の各段階の工程管理</li> <li>・全体工程管理に係る提案、取組み、配慮等</li> </ul>	4	3.5	3.0	3.3
	③社会貢献等	・市内企業への発注や市内調達の実施	4	2.4	4.0	1.2
		・社会貢献に資する取組等	1	0.5	0.5	1.0
(2) 品質性能向上に関する提案	①施設性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の変化への柔軟性の確保</li> <li>・来庁者の利便性、職員の業務効率等に寄与する施設整備</li> <li>・高度な免震性能に基づく建物全体の耐震性能の確保</li> <li>・災害拠点としての施設性能、非常時の業務継続性の確保</li> </ul>	8	6.3	5.3	6.3
	②ライフサイクルコスト、環境を考慮した庁舎を実現するため具体的な方法	・ライフサイクルでの施設維持管理コストの縮減	3	2.3	2.0	2.2
		・ライフサイクルでのエネルギーコストの縮減	3	2.0	2.2	2.6
(3) 施工計画に関する提案	①品質管理及び施工精度	・施工中の品質管理方策や施工精度の確保	5	3.7	3.5	3.7
	②新庁舎建設工事における安全対策、騒音対策、利便性の確保	・新庁舎建設工事に当たって、周辺住民、庁舎利用者、職員それぞれに配慮した安全対策や騒音対策	3	2.0	2.5	2.2
		・新庁舎建設工事中の庁舎利用者・職員用駐車場閉鎖期間の短縮や利便性の確保	3	2.1	2.1	2.5
合計			40	29.3	29.6	30.0

加算点：ア) + イ)	A-1	A-2	A-3
		37.9	35.6

※ 各項目の加算点は小数点第2位以下を切り捨て、小数点第1位まで算出する

(3) 評価値の算定による落札者等候補の選定

下記の算定式により、各入札参加者の評価値の算出を行った。

<p><b>【算定式】再掲</b></p> $\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点 (標準点100点+加算点)}}{\text{入札価格 (円)}} \times 1,000,000,000$ <p style="text-align: right;">(小数点第4位以下切捨て)</p>
--

(評価値の算定結果)

提案 受付番号	①技術評価点	②入札価格 (税抜き)	③評価値 (①÷②×1,000,000,000)	順位
A-1	137.9	¥10,484,000,000	13.153	2
A-2	135.6	¥11,585,000,000	11.704	3
A-3	140.0	¥9,790,000,000	14.300	1

予 定 価 格 : 12,630,248,000円 (消費税及び地方消費税相当額を除く)

低入札価格調査基準価格 : 8,698,982,600円 (消費税及び地方消費税相当額を除く)

(落札候補者の入札価格の内訳 (税込み) )

請負代金額 : 10,769,000,000 円  
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 979,000,000円)

( 内 訳 )

工事請負額 10,380,170,900 円  
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 943,651,900円)

設計請負額 388,829,100 円  
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 35,348,100円)

## 6. 落札候補者等の選定結果

選定委員会は、落札者決定基準に基づき、受付番号A-3を落札候補者として最も適当なものとして選定し、その次に評価値の高かった受付番号A-1を次点落札候補者として選定した。

(落札候補者)

提案受付番号	落札候補者
A-3	大成建設株式会社 神戸支店

(次点落札候補者)

提案受付番号	次点落札候補者
A-1	株式会社 大林組 神戸支店

## 7. 各技術提案に対する審査講評

各技術提案に対する選定委員会での審査講評は次の通りである。

審査項目	評価
<b>(1) 全体 実施方法・工程管理・社会的貢献等</b>	
A-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程短縮の提案については、具体的な取り組みを列挙したうえで新庁舎開庁時期の前倒しや、建設業務全体の工程短縮が検討されている点が評価できる一方、他の提案に比べ利用者目線・市民目線での配慮という点が惜しまれる。</li> <li>業務全体を円滑に運営するにあたり、統括代理人を補佐する管理技術者、監理技術者及び営業担当が統括マネジメントチームを組織している点などが評価できる一方、情報共有の具体性という点が惜しまれる。</li> </ul>
A-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者動線と交錯しない解体手順と動線計画の提案など、利用者目線から発注者の立場を理解している点が評価できる一方、工程短縮において他の提案に比べ短縮が少ない点が惜しまれる。</li> <li>地域貢献における市内企業への発注や市内調達に関して、契約手法も含め積極的に提案された点が評価できる。</li> </ul>
A-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の発注方式の特性を最大限に活かし、実施設計当初からのコスト管理や施工検討の前倒しといった業務遂行により、大幅な工程短縮が検討された点が評価できる。一方、実施設計工程の短縮においては、発注者の意思決定に必要となる期間まで短縮しないよう配慮が必要である。</li> <li>B I Mを駆使した情報共有体制に加え、全ての関係者が実施設計の妥当性を確認し、業務をスムーズに進める体制、Z E Bプランナーを含めた施設供用後の管理まで充実した体制を組織している点が評価できる。</li> </ul>

(2) 品質性能向上に関する提案	
A-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎低層棟の免震位置を柱頭から基礎へ変更することにより、既存立体駐車場と新庁舎との高低差を解消するなど、地下階の利便性・安全性を高める提案がなされた点が高く評価できる。また、免震、耐震性能においては、強風時の機能性に配慮された点が評価できる。</li> <li>・新庁舎におけるバス停に面する出入口において庇を設置する提案や、現庁舎北側緑地の樹木利用の提案など、全体的にきめ細やかな配慮がなされている点が評価できる。</li> <li>・現庁舎地下利用の構造躯体を鉄骨造に変更する提案がなされ、イニシャル及びランニングの両コストをよく検討されている反面、実際の運用上での鉄骨のメンテナンスが課題である。</li> </ul>
A-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震時における家具の転倒などに配慮し、非常時の施設運営に影響が少ない提案が評価できる。</li> <li>・大温度差空調システムや高顕熱形パッケージエアコンなど、Z E B R e a d yの達成に寄与する環境に配慮された提案が評価できる。一方で、Z E B R e a d yについて、認証取得や補助申請などに関する提案の具体性という点で惜しまれる。</li> <li>・什器、備品などのオフィスレイアウト計画を含む整備について、什器の配列や働き方など具体的な提案が評価できる。</li> </ul>
A-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免震・耐震性能において、独自の技術を用いて、レベル2相当の地震でも家具が転倒しないなど、要求水準を大幅に上回る提案に加え、被災度モニタリングシステムの提案などが高く評価できる。</li> <li>・Z E B R e a d yを達成することを前提に、Z E Bプランナーによる認証取得や補助申請などの事務にかかる支援を行い、竣工後の供用・運転に際して、充実したサポートが3年に亘り実施されることなど、設計、工事、供用後を通じた手厚い支援体制が高く評価できる。</li> <li>・予備配管や予備スリーブなどを予め設置する提案がなされ、将来の変化に対応する設備計画のきめ細やかな配慮が評価できる。</li> <li>・日射遮蔽フィンの角度を変更し、環境性能を高めるなど、意匠との両立を図る性能向上の提案を積極的に行った点が評価できる。</li> <li>・新庁舎地下階と立体駐車場の接続部について、工程とコストの問題から低層棟の基礎免震化にかかるV E提案を取り下げた点が惜しまれる。</li> </ul>
(3) 施工計画に関する提案	
A-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工図担当者が現場に常駐する体制や各説明会による情報共有に関する提案がなされ、現場運営における品質管理の一貫性という点が評価できる。</li> <li>・施工品質の管理や安全対策など具体的な提案が多く、施工中の利用者駐車場の確保や、クスノキ広場における仮囲いの配慮や誘導看板など、きめ細やかな点が評価できる。</li> </ul>
A-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事車両の通行エリアや独自の騒音基準の設定など、周辺住民に対する安全対策、騒音対策について市民目線となった提案がなされた点が評価できる。</li> <li>・人、自転車、車など交通に関する影響を小さくする動線計画に関する提案がなされ、施工中の利用者駐車場の確保など広く周辺環境に配慮された点が高く評価できる。</li> </ul>
A-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計から施工まで一貫したB I Mデータを使用して施工品質の向上を図り、全工程を通じたコスト調整会議により予算超過の防止にも配慮されている点が評価できる。</li> <li>・騒音・振動シミュレーションの導入や施工中の利用者駐車場の確保など、施工における周辺環境に対するきめ細やかな配慮が評価できる。</li> </ul>

## 8. 選定委員会の総評

本工事の特徴として、特に「高度な免震性能に基づく建物全体の耐震性能の確保」、「来庁者の利便性、将来変化への対応」等の施設機能の向上や、新庁舎新築及び現庁舎等解体の工事期間中において「庁舎機能を維持しながらの施工」「敷地制限下における長期間施工」といった施工段階における有効な対策が求められる中で、3社から入札参加があり、いずれの企業からも独自技術やノウハウが発揮され、非常に高いレベルでの提案が数多く見られた。

選定委員会では、専門的かつ中立・公平な立場から、また様々な観点から提案者と質疑を交わしたうえで評価を行った。技術提案評価は、いずれの企業も十分に市の要求水準に応えられる、高い技術力を有していることがうかがえる僅差の結果となった。

とりわけ落札候補者【A-3】は、独自の工法による高い性能の免震技術により安全性を確保するとともに、災害発生時の防災拠点として業務継続を可能とする提案について高く評価し、また省エネ機器・設備システムの導入によりエネルギーコストを大幅に縮減し、高い環境性能を有する「西日本初となる新築ZEB庁舎の実現」と、独自組織である「エネルギーサポートセンター」による運用段階の手厚い支援体制についても高く評価した。

そのほか設計、施工、維持管理の各段階における課題について深く理解したうえで、それぞれの提案項目に具体的かつ全てにバランスよく高い技術提案を反映させていたことを評価した。

提案全体を通して、市民、職員、施設管理者など幅広い視点で施設利用者に対して配慮され、発注者に寄り添った姿勢が印象的であり、永く親しまれる新しい庁舎を建設するパートナーとして相応しい高い評価となった。

なお、実施設計工程の短縮にかかる具体的な設計スケジュールや、取り下げとなったVE提案（低層棟の基礎免震化による地下階の利便性・安全性の向上）については発注者である市と更なる検討と調整を求めるものである。

今後、落札候補者は、市と工事契約を締結することが予定されているが、設計・施工・施設運用の各段階において今回の提案内容をもとに、さらに充実した新庁舎整備の実現に向けて取り組むとともに、市の意向を最大限尊重しながら、「市民の安全・安心な暮らしを支え 夢と希望があふれる庁舎」の整備に尽力されることを期待する。

最後に、選定委員会として、全ての入札参加者の本工事に真摯に取り組まれた熱意と努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

以上